

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道



古の作法に則って、
堂々と晋山

晋山結制式特集

去る6月15日（土）から16日（日）にかけての2日間、龍源寺三十世晋山結制式が行われました。梅雨の真只中の開催ということで、天候が心配されましたが、幸いにして雨は降らず、粛々と宗門の伝統に則った儀式を厳修することができました。

今回の龍源寺報「山雲水月」夏号ではこの晋山結制式関連の記事を中心に紹介していきます。

開山仁叟寺九世日洲寿朔大和尚から脈々と繋がる三十代の歴代住職、また約三百五十年以上にも亘る歴史を護持し法灯を絶やさぬよう、日々精進をしていく所存です。まだまだ若輩者ではありますが、皆様のご指導ご鞭撻の程、どうぞ宜しく御願い申し上げます。

新命住職紹介

姓名

渡辺龍道（法号・大永）

生年月日

1976年3月22日生まれ（26歳）

安居歴（修行歴）

大本山總持寺に2年間

学歴

早稲田大学教育学部歴史科卒

中国北京語言文化大学留学（1年）

職歴

群馬よみうり新聞社勤務（半年）

趣味

旅行・映画鑑賞・パソコン・読書

平成14年

龍源寺年間行事予定

- 1/1 年頭祈禱
- 1/3～1/4 年始挨拶
- 2/3 ※節分会
- 2/15 ※涅槃会
- 3/18～3/24 春彼岸
- 3/23 蚕影山例祭
- 4/8 ※花祭り
- 4月末 施食会法要
- 6/15～6/16 三十世晋山結制式
- 7/12～7/16 県外檀信徒棚経
- 7/23～7/24 ※子供禪の集い
- 8/13～8/16 お盆
- 9/20～9/26 秋彼岸
- 12/8 ※成道会
- 12/31 除夜会

※は本寺・仁叟寺に於いて修行予定です。

子供坐禅会 参加者募集中！

7月23日から24日にかけて開催。詳細は同封の資料で確認をお願いいたします。連絡先は、龍源寺

(TEL/FAX) 027-387-5859

(e-mail)

ryugenji@alpha.ocn.ne.jp



住職研修会を終えて（中央は管長猯下）

さまより住職辞令の授与式が行われます。また、それに併せて^{あわ}首先住職研修会も開催されます。

去る5月30日（木）～31日（金）の1泊2日間に亘り、東京の港区芝の曹洞宗宗務庁研修道場で同式

ひほうえ

に参列いたし

緋法衣『仕付け取り』

今回の式では、正式に大和尚となるだけでなく、緋の衣の着用が許されます。そこで、安下所を提供して下さった檀家役員の出牛裕一氏に緋の衣を寄贈していただきました。

る作業をいたします。今回は去る6月3日（月）に本寺の仁叟寺において、その作業をさせていただきました。



仕付け取り作業の様子

衣は施主さんと共に『仕付け取り』と呼ばれ

また、この緋の衣は^ろ絹と呼ばれる素材でできており、京都の細野福蔵商店さんによる注文品です。寺で行われる重要な儀式などでの着用となります。

たいとうしき

二十九世退董式

退董式とは、住職の退任式です。この度、当寺二十九世大顕啓司大和尚さまが、その任を私、弟子の長男龍道に渡し東堂とされました。

振り返りますと、東堂住職は昭和50年に龍源寺住職に就任。当時無人の寺を拡張し、檀信徒を約三倍に教化。また、墓地の造営や本堂・庫裏

の改修、長屋門の新築や魚藍観世音像、義民白田六右衛門顕彰碑、太平洋戦争慰霊碑などの建立をはじめとする境内整備などその功績は枚挙に^{いとま}暇がありません。

今後は仁叟寺の住職に専念をするそうです。更なるご活躍を祈念申し上げます。



27年間、お疲れ様でした

おてんま作業

式を開催するにあたり、当寺檀信徒一同による奉仕作業『おてんま』が、去る6月2日（日）に朝8時から午後2時まで行われました。境内の清掃はもちろん、梅林・杉林の下刈り、^{せんてい}植木の剪定、竹林の清掃などを行いました。

今回は総勢32名もの多数の方々が参加してくださり、寺院環境もきちんと整備することができました。参加された方々に改めて謝意を表し、ご芳名を右に記載いたします。

しんさんじょうどう

晋山上堂(禅問答)



既に文書で何度か紹介していますので、敢えて繰り返すはいたしません。この晋山上堂と呼ばれる式が、晋山結制式の最大のクライマックスです。

僧侶が次々と、新命和尚に問答を仕掛け、その力量を試

すというもの。いわゆる禅問答です。もちろん、事前の打合せなどはなく、全てが即興で行われます。仏教用語から時事的なワールドカップ、他にも、「喝」^{かつ}の一言など多種多様な問答が繰り広げられました。

問答に喝！

仁叟寺の徒弟であり、住職の弟^{こまざわだいがく}の渡辺俊司和尚は現在駒澤大学仏教学部に在籍中。大学を休学し、2年間大本山總持寺で厳しい修行を積みました。今回はその俊司和尚^{りつしよく}の立職と呼ばれる式、それがこの「首座法戦式」です。

僧侶になるためには誰もが通る関門で、いわゆる僧侶の元服式です。この日を境に

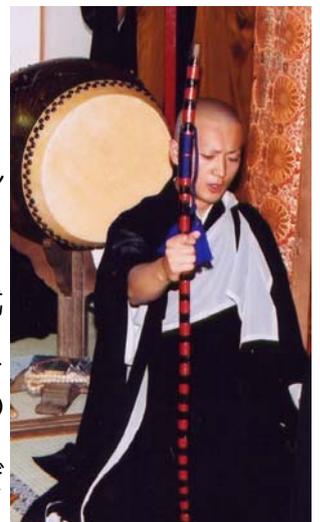
俊司首座法戦式

^{じょうざ}上座と呼ばれ、僧侶として一人前として認められます。

それゆえ、首座は、一世代の儀式ですから当然ですが、緊張と決意でこの式に臨みます。今回は、修行時代の^{どうあんご}同安居（同期）7人から法問が矢継ぎ早に浴びせられましたが、堂々とした受け答え。感動を受けました。

【おてんま作業参加者】

宇佐美源吾、金井淳太郎、田端良作、出牛裕一、白田隆一、田中敏男、斎藤良一、木村照夫、八木みち江、八木しず江、白田実、樋口裕、小林茂、田中純示、白田博、田中忠男、木村重太郎、白田香、渡辺和孝、神部靖、小林信子、田端米治、出牛均、白田智志、八木和宏、渡辺一夫、金井仲子、中曾根美江、杉田彰、神部清、篠崎昭、篠崎悦一
（敬称略・順不同）



力強く
法問を戦わす

晋山結制式寄付単

【生花】 向雲寺・光徳寺・宗龍寺・東福寺・宝積寺・大森院副住職・群馬県曹洞宗青年会・龍源寺総代人役員一同・仁叟寺総代人一同・仁叟寺梅花講・山崎一郎・長谷川弘・吉川誠之助

【祝電】 大本山總持寺・大本山永平寺・大本山總持寺出版部長秋田県補陀寺住職 阿部寛志
大本山總持寺副監院福島県龍台寺住職 矢内俊道・大本山總持寺人権室次長 庵潤太
群馬県総和会会長金古常仙寺住職 佐藤全苗・大本山永平寺高祖道元禪師七百五十大遠忌事務局
沼田市舒林寺住職 天野鐵心・群馬県曹洞宗青年会会員一同・鹿児島県紘昭寺徒弟 福永剛彦
京都府 細野福蔵商店

【祝酒】 向雲寺・光徳寺・宗龍寺・東福寺・恵徳寺・向陽寺
東雲院・林泉庵・龍源寺総代人・高橋おとき・十一屋酒店

【菓子・食品】 向雲寺・東福寺
金古常仙寺・法泉寺・信永院・龍門寺・勝音寺・萬福寺・圓明寺・長喜院・金井正明・馬永軍
肖曼迪

【紹紫法衣】 仁叟寺東堂 【紹改良衣】 長昌寺 【金襴絡子】 向雲寺

【数珠】 光巖寺 【輪島塗香合・小千谷ちぢみ一反】 釈迦尊寺 【拄杖】 長松寺

【黒塗配役単牌18枚】 東福寺 【古文書複写】 信永院 【伽羅香】 慈光院

【正座椅子10脚】 仁叟寺梅花講 【般若心経屏風】 渡辺テル 【紹緋法衣】 出牛裕一

【正絹木欄袈裟】 吉川誠之助 【置時計】 サンコーカントリークラブ社長寺本欣一

【黒御影石製香炉】 小池光江 【花活け作業一式】 仁叟寺華道教室 【灰・線香】 放光

【写真撮影】 落合喜久男・井上隆・神保佳玄 【須弥壇修繕作業一式】 江川俊廣

【除草剤散布作業一式】 篠崎悦一 【庫裏廊下修繕作業一式】 加部元信

【たいこ橋改修・庫裏畳替え・本堂畳替え・参道修復・本堂棧敷設置・長屋門脇石垣設置
庫裏ペンキ塗り・庫裏漆喰塗り・床の間漆喰塗り・境内水道・庫裏ふすま表具・境内砂石
足踏石設置・本堂電気・庫裏電気配線・長屋門側溝各工事一式】 仁叟寺

《 敬称略・順不同 / 謹上謝意 》

行雲流水(編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

梅雨も終わり、^{せみしぐれ}蝉時雨が夏を告げている今日
この頃、皆様は如何お過ごしでしょうか。お
^{いかが}かげ
蔭さまをもちまして、三十世晋山結制式は ^{つつが}恙
無く終了いたしました。

式当日は当寺檀信徒の方々はもとより、ボランティア（住職友人）、親戚、仁叟寺檀信徒、仁叟寺史編纂委員、業者の方々に変

世話になりました。特にボランティアの皆様は仁叟寺からの人員輸送をはじめ、受付、演奏、案内、接茶などを担当していただきました。他にも写真を撮影して下さった仁叟寺史編纂委員写真班の方々、仁叟寺梅花講、華道教室の方々。改めて謝意を表します。

晋山上堂式の間答にもありましたように、「公明正大にして日々弁道精進」していきたいと思っております。